

はじめに

本校にとって令和6年度は、ひとつの節目の年となりました。これまで本校の通学区域は住之江区・阿倍野区・西成区の3区でしたが、大阪市内に府立支援学校の新校が設置されたことにより、西成区の子どもたちは難波支援学校に通うこととなりました。本校にとっても長年の懸念事項であった教室不足が解消され、本校の施設・敷地面積に相応の児童生徒数となりましたが、教職員数の減少に伴う業務の見直しも余儀なくされました。

そのため、今年度は校内の分掌体制を整備し、これまで6つの分掌であったものを「教務部」「支援部」「健康・安全部」の3つの分掌とし、業務の精選をねらいとしました。また、令和4年12月に改訂された生徒指導提要の「発達支持的生徒指導」を基盤に、常態的・先行的（プロアクティブ）な生徒指導を実施することをめざし、これまでの生活指導部と研修支援部をひとつの分掌とすることにより、生徒指導・生徒支援の方向性を一致させ、校内支援の充実を図りました。また、支援部の中にはこれまでのキャリア支援部の機能も含めており、キャリア教育を軸とした生徒指導・生徒支援もめざしています。

今年度のカリマネ推進委員会では、キャリア教育について年間を通じ協議を行い、本校の強みを踏まえたキャリア教育について探りました。また自立活動とキャリア教育の関連性を示す「職業準備性ピラミッド（住之江 Ver.）」を完成させ、教員間で共有することにより、子どものレジリエンスを高め学校全体で取り組むキャリア教育を推進してまいりました。

個別の教育支援計画「A²（エイ・ツー）」を活用した生徒支援及び地域支援につきましても引き続き重点的に取り組み、個々の児童生徒の実態把握と支援の方向性の検討に対応しております。

今後とも本校の教職員一人ひとりが、これまで本校が培ってきた専門性をより深め、エビデンスのある支援を展開していただけますよう、尽力してまいります。引き続きのご指導を、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年3月

大阪府立住之江支援学校
校長 益子 典子